

平成25年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
追跡評価結果

研究課題名	知識基盤形成のための大規模半構造データからの超高速パターン発見
研究代表者名 (所属・職)	有村 博紀（北海道大学・大学院情報科学研究科・教授）

【評価意見】

インターネット上の膨大なデータ源は、有用な情報や知識を有し、それをどのようにして高速に精度良く抽出するかが、情報処理社会の大きな課題となっている。これにより、いわゆる big data の活用が進めば、社会の質的な発展も期待できる。

研究代表者らは、経験則に基づくアルゴリズムが多い中で、理論の裏付けのある超高速パターン発見の手法を幾つか開発しており、その先進性は高く評価される。データマイニングの実用化フェーズで、新しいアルゴリズムがどの程度社会的に還元されたかを評価するのは難しいが、本研究がその後の大きなプロジェクトにもつながっており、若手研究者の育成に貢献している。研究期間終了後の論文は多いとは言えないが、国際会議等でも招待講演を行うなど、この分野の発展、普及に努めていると判断できる。

以上により、本研究が飛躍的に発展しているとはいえないが、この分野の発展を先導したと評価できる。